

【通教 通信授業】ドイツ語（B）

シラバス管理

管理モード	学生プレビュー(日本語)	学生プレビュー(英語)
-------	--------------	-------------

授業科目名	年度	学期	開講曜日・時限	学部・研究科など	担当教員	配当年次	単位数	科目ナンバー
【通教 通信授業】ドイツ語（B）	2025	その他	－		井関 正久	1年次配当	2	JD-GE1-702L

授業形式

通信授業（レポート学習）

履修条件・関連科目等

履修条件：通信教育課程の学生対象

授業で使用する言語

日本語

授業で使用する言語（その他の言語名）

授業の概要

教科書の冒頭にドイツ語の発音解説があるので、補助教材の音声データを繰り返し聞いてドイツ語の音に慣れておくこと。文法事項に合わせて各課の内容が組み立てられているので、この教科書をととして、文法事項全体の学習も一通りできるようになっている。

科目目的

ドイツ語基礎文法と常に対照させながら各課の内容を理解し、段階的にドイツ語の読解力を身につけていくことが、授業の目的である。

到達目標

辞書を用いて簡単なドイツ語の文章を読めるようにすることが、さしあたっての到達目標である。

授業計画と内容

教科書『ドイツ語（B）』をととして以下のことを学んでいく。
第1課：人称代名詞と動詞現在人称変化
第2課：sein, haben, werden
第3課：名詞の性と冠詞
第4課：名詞と冠詞の格変化
第5課：名詞の複数
第6課：命令形
第7課：冠詞類と人称代名詞の格変化
第8課：話法の助動詞
第9課：前置詞の格支配
第10課：形容詞の格変化・接続詞と語順
第11課：動詞の時制
第12課：分離動詞
第13課：再帰代名詞
第14課：関係代名詞・受動
第15課：接続法第1式
第16, 17課：接続法第2式他

授業時間外の学修の内容

その他

授業時間外の学修の内容（その他の内容等）

ドイツ語（A）の文法教科書を手許に置いて学習すること。辞書で調べた単語の品詞を明らかにし、名詞であれば性は何か、単数か複数か、何格かなども必ず確認すること。文法教科書と照らし合わせて、疑問に対する答えを自分で見つけ出すことが重要である。
発音がスムーズにできるようになることは、外国語を習得するうえで大切である。音声データを活用し、発音が定かでない時は教科書冒頭にある発音規則を参照して、自分の発音を確かなものにすること。

授業時間外の学修に必要な時間数／週

成績評価の方法・基準

種別	割合（％）	評価基準
その他	100	試験（科目試験またはスクーリング試験）により最終評価します。

成績評価の方法・基準（備考）

課題や試験のフィードバック方法

その他

課題や試験のフィードバック方法（その他の内容等）

【通信教育課程はなし】

アクティブ・ラーニングの実施内容

実施しない

アクティブ・ラーニングの実施内容（その他の内容等）

【通信教育課程はなし】

授業におけるICTの活用方法

実施しない

授業におけるICTの活用方法（その他の内容等）

【通信教育課程はなし】

実務経験のある教員による授業

いいえ

【実務経験有の場合】実務経験の内容

【実務経験有の場合】実務経験に関連する授業内容

テキスト・参考文献等

通信教育課程 在学生サイト 教科書一覧を参照
<https://sites.google.com/g.chuo-u.ac.jp/tsukyo-current/textbook?authuser=0>

オフィスアワー

【通信教育課程はなし】

その他特記事項

【通信教育課程はなし】

参考URL

コメント1

【通信教育課程はなし】

コメント2

【通信教育課程はなし】

コメント3

【通信教育課程はなし】

コメント4

【通信教育課程はなし】